



澁川市立古巻小学校

6年図画工作の授業実践を紹介します！

授業の見所

写真を活用して製作工程を考えさせたことは、正しい手順の理解向上や、完成までの見通しをもたせるうえで有効であったか。

つかむ	追求する	まとめる
	✓	

題材名：ほり進めて刷り重ねて（彫り進み版画）

ねらい：製作工程の写真の順番をグループで考えさせることで、色の重なり方や色のでき方、完成までの手順など、彫り進み版画の特性をより理解させる。

【追求する】班のメンバーに刷りの順番クイズを出し合おう

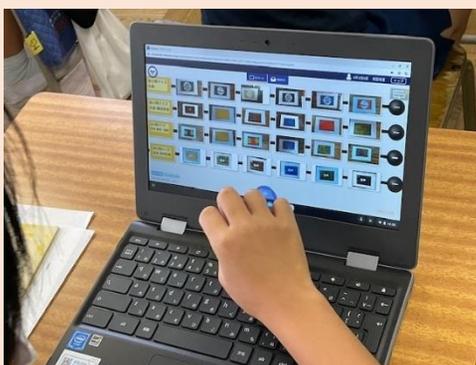
導入では、前時の試しの活動で製作した2枚の練習版画をオクリンクを使用して写真をつなげることから始めました。



児童が写真の順番をバラバラにし、班のメンバーに写真を配信して、お互いに順番クイズを出し合いました。写真を入れ替えて、製作手順の並び替えを考える場面では、色の重なりや色のでき方など、**試行錯誤しながら完成までの手順を意識することにつながっていき**ました。また、画面をつき合わせ自然と対話が生まれ、**個人では思いつくことができなかった思考を知る**ことにもつながりました。

※製作の過程で失敗の修正が難しい版画を扱うにあたり、**試しの活動**を取り入れたことは有効でした。

※製作に見通しをもって次時につなげることができる**ポートフォリオ**の蓄積は、深い学びにつながります。



タブレット上に写真を保存・共有しておくことで、一目で正しい製作手順を確認しながら、実際に刷りの工程に入る前に、**様々な色のパターンを試す配色計画**にも生かしていました。

※工夫を凝らした鑑賞活動にも活用でき、**作品に込められた主題**や、作者の思いや願いを感じることも有効な手段となります。

※好きな大きさと好きな部分を**じっくりと鑑賞**することも利点です。



指導者は、LIVEモニタリングを使用し、全体把握をしながらいつでも個別の支援を行えるようにしていました。また、参考作品や製作手順を提示したり、提出ボックスを活用し**課題の集約や表示**を行ったりしていました。

※本時のまとめの部分では、Googleフォームを活用して振り返りを行い、スプレッドシートで集約して児童の**理解度やつまずきを見取れる**ようにしていました。